

本町田ひなた小学校と 成瀬小学校が開校！

2025年4月、学校統合により
2校の新たな学校が誕生します

新しい友達との
学校生活が
楽しみだな



みんなで準備してきた
新たな学校が
はじまるよ！

1 子どもも大人も、ともに学び、ともに育つ学び舎づくり 新たな学校づくりで目指すものとは

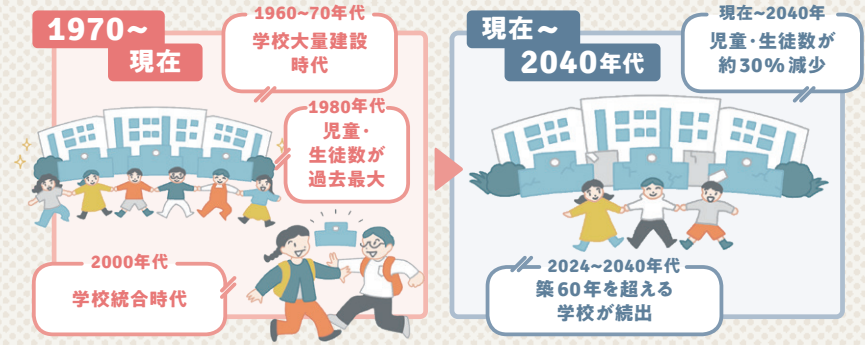
新たな学校づくりは なぜ行うの？

まちだの新たな学校づくりでは、「町田で生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育むことができる環境づくり」に取り組んでいます。これまで、児童や教員、保護者や地域の方々など沢山の方のご協力のもと、学校の統合や新たな学校を開校す

るための準備に取り組んできました。2025年4月、いよいよ、本町田ひなた小学校、成瀬小学校は、新たな学校としての第一歩を踏み出します。
ここでは改めて、新たな学校づくりの背景と新たな学校づくりで目指すものをご紹介します。

背景

市内の小・中学生の数は減少を続けており、2040年度には2020年度に比べて約30%減少する見込みです。また、高度経済成長期の人口増加を受けて建設した学校が一斉に老朽化しています。そこで、少子化と老朽化に対応しながら、より良い教育環境の実現に向けて、新たな学校づくりを始めました。



新たな学校で実現したい6つの目標

小学校では1学年あたり3～4学級を実現すること、これからの教育に柔軟に対応できる教育環境を整備することなど6つの教育環境の実現を目標としました。施設整備のハード面だけでなく、ICTの活用などソフト面からもより良い教育環境をつくっていきます。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 望ましい学級数の実現 | 4 特別支援教育の環境整備 |
| 2 学校施設環境の整備 | 5 学校を支えるチーム体制の構築 |
| 3 未来を見据えた教育環境の整備 | 6 地域拠点となる学校づくりの実現 |

2 本町田ひなた小学校、成瀬小学校が開校

新たな学校づくりの第一弾として、本町田ひなた小学校、成瀬小学校が開校します。

新たな学校を見てみよう

2021年度以降、各地区で「新たな学校づくり基本計画検討会」や「新たな学校づくり基本計画推進協議会」において、地域や子どもたちにアンケートをとりながら、学校統合に伴う通学路の変更や児童への配

慮、新校舎のコンセプトなど、新たな学校を開校するにあたって必要なことを検討し、準備を進めてきました。

例えば、通学に関しては、保護者や地域の方々と通学路安全点検を行い、その結果を基に安全対策を実施し、新しい通学路案を親子で実際に歩くシミュレーションを行うなどしながら、通学路を検討してきました。

また、合同での遠足や、お互いの学校を行き来しあって交流授業を行うなど、児童同士の交流も進めてきたほか、新しい学校の校歌や校章は、子どもたちが制作に参加しながら一緒に作りあげました。

このような検討・準備を経て、いよいよ本町田ひなた小学校と成瀬小学校が開校します。

本町田ひなた小学校

統合前の学校名

本町田東小学校

本町田小学校

町田第三小学校

新たな学校名

本町田ひなた
小学校

※町田第三小学校は2028年度に統合します。

地域みんなで子どもたちを温かく見守ってくださっていることや地域の方々等の考えを知ることができました。新しい学校をより良いものにしようという、夢や希望を感じられる場に携われてよかったです。ひなた小の子どもたちにもその想いを感じてもらえるよう、学校と協力していきます。どんな子どもワクワク・楽しく通える学校になるよう、また、地域の方・保護者にとっても様々なことにチャレンジできるような、ひなた小になることを願っています。



推進協議会保護者代表委員
渡邊康子さん(上)
日高由香さん(左下)
熊澤淳さん(右下)

本町田地区

新校舎 (現・本町田東小)



仮校舎 (現・本町田小)

町田第三小

校歌

一 ひなたの丘を丸く包む地球の青
黒くうるおう大地をふみしめ
いまわたしはこの時代を生きる
湧き出するたたえる恵み流れゆく
ふるさとの水いのちの鼓動
ねがいをつないでともに歩もう

二 ひなたの丘に響き合うみんなの声
答えのない未来を見つめて
いつもわたしは心開き考える
なぜだろう やつてみよう ありがとう
粘り強く 向き合う仲間
明るく楽しくともに学ぼう

三 ひなたの丘にはばたくみんなの夢
霜雪も 勇気で乗り越える
いつかわたしの花を咲かせよう
語り合い 遊び 働き 信じ合う
太陽を受け 萌え立つ緑
眩しい明日をともに創ろう
ああ 色とりどりの ああ 光あふれる
本町田ひなた小学校

【制作者から】 どこか懐かしさ、暖かみがあり、長い間、色褪せない旋律としました。児童や先生、保護者の方からのご意見や、3校で歌われてきた言葉を歌詞に取り入れるとともに、子どもたちが色とりどりの個性を発揮できる小学校になることを願って作詞しました。



本町田ひなた小学校 校歌
コンセプト「未来を創るひなたの子」

玉川大学教育学部
作詞 山田深雪 准教授
作曲 朝日公哉 教授

校章



コンセプト
「ひなたへ集まる子どもたち」

【制作者から】 ひなたを作り出す太陽、各々の飛び方で太陽へ向かい羽ばたいていく三羽の子鳥、小学校を表す「小」の文字で構成しています。三羽の子鳥たちは、統合する三校とひなた小に集う子どもたちを表しており、変化する未来へ子どもたちが向かっていく様子を表現しています。

制作 玉川大学芸術学部 学生有志
指導 玉川大学芸術学部 中島千絵 教授
玉川大学芸術学部 博多哲也 講師



児童の交流

青少年健全育成による 地域イベント

3校でこれまで様々な児童交流を重ねてきました。各校で開催されている素敵なイベントが、ひなた小にも引き継がれ、子どもたちが大勢いるからこそこのイベントもできるようになると思うので、色々なことにチャレンジできる、楽しい学校になることを願っています。それを地域もバックアップし、本町田地区が盛り上がりってくれるといいなと思います。



推進協議会地域代表委員
本城浩子さん(左) 野口敏子さん(中)
手塚圭子さん(右)



交流の様子



成瀬小学校

統合前の学校名

南第二小学校

南成瀬小学校

新たな学校名

成瀬小学校

児童が安全・安心して学校に通い、学べるように、議論をしてきました。統合によって環境が変わり、友達が増えることは素晴らしいことであり、10年20年先までの長い付き合いになる友達をたくさん作ってほしいと思います。子どもたちが未来へ向かって力強く歩んでいくことができるよう、学校・保護者・地域が一体となり、子どもたちのことを第一に考え、支え、実りある学校生活を送れるような小学校になることを期待しています。



推進協議会地域代表委員

南成瀬地区



校歌

一 緑道色付き朝を迎えれば
水面が輝く恩田川
優しい光に充ちるよ 成瀬小
私たちは進むこの日々を
学びの空に集うカワセミ
歌声響かせ前向いて
まっすぐに進んでいこう
えがいていこうこの道を
笑い合い支え合いながら
この日をみんなで一緒に生きていこう

二 豊かな木々から受け取ったものは
飛び立つ力とこの笑顔
強く繋いだ手かさなる 成瀬小
私たちはいつもひとりじゃない
大きく広い世界の中で
出会えた奇跡に「ありがとう」
それぞれの夢見つけても
絆はずっと変わらない
過ぎた時を握りしめて
みんなで一緒に目指そう 明日の空を

【制作者から】1番は「現在」、2番は「未来への道」がテーマです。児童や先生、保護者の方からのご意見を歌詞に取り入れ、両校の児童と一緒に制作するとともに、児童が生活する地域を歩き、土地の空気や人を感じながら制作しました。また、児童が歌詞の意味を理解しながら歌えるようにしました。



成瀬小学校校歌
コンセプト「誠実な生活、自然と共に
成長すること、大海へ漕ぎ出す未来」

作詞 濱野 崇
作曲 笹木 研吾

校章



コンセプト
「未来に花咲く、みんならしさ」

【制作者から】たくさんの人が出会い集まり、個性をのぼしていく新しい小学校。それぞれのみんならしい花が咲くイメージから、5枚のちがう花びらをもつ花のシルエットをつくりました。東京都の木いちよう、町田市の木けやき、恩田川の桜、庭のシンボルの楓、そしてみんなの笑顔が丸く広がる様子の5つをモチーフにしています。

デザイン 大威夏希 頓部 遥 中嶋海帆
制作指導 東京造形大学グラフィックデザイン専攻 海士智也
東京造形大学グラフィックデザイン専攻 教授



児童の交流

校歌・校章
完成報告会

2024年10月30日(水)に市立総合体育館で、南第二小学校と南成瀬小学校の全校児童が参加して成瀬小学校校歌・校章完成報告会を実施しました。児童が両校の校歌・校章をお互いに紹介したうえで、新しい校歌・校章の制作者の方々と制作過程を振り返るとともに、全員で新しい校歌を合唱しました。また、報告会に合わせて、両校児童による「玉入れ」や「成瀬音頭の発表」を行い、児童同士が交流しました。

成瀬小学校開校前交流会で、統合について色々不安だった子どもたちがひとつになった姿を見ることができて良かったです。両校の子どもたちが一緒にいても違和感がなく、全員で校歌を歌っている姿には感動しました。幼稚園・保育園が一緒だった子との再会や、新しい友達ができるなど、楽しみながら取り組んでいる様子を感じることが出来ました。



推進協議会保護者代表委員



交流の様子



閉校する学校のメモリアルコンテンツ



2025年3月をもって閉校する本町田東小学校、本町田小学校、南第二小学校、南成瀬小学校の4校が歩んできた歴史を将来に向けて残していくため、各学校の360°VRツアーや思い出の写真などをまとめたメモリアルコンテンツを制作しました！右記のURL、二次元コードからご覧いただけます。



学校の雰囲気を感じることができるね！

町田市立学校
メモリアル
コンテンツ
(町田市ホームページ)



<https://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/kyoiku/keikakutou/kibohaiti/memorial.html>

3 地域活用型学校（市民生活の拠点づくり）を目指して

これまでよりも市民や地域の方が使いやすく、より身近に感じてもらえる拠点とします。

地域活用型学校とは

学校を、子どもたちだけの場ではなく、大人もともに学び、ともに育つ場にしていこうため、これからの学校は、学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、多様な人々が学校につどい、活動や交流をする地域の活動拠点とすることを目指しています。そこで、新たに整備する学校においては地域に開放する区画を、普通教室などの学校

専用の区画と導線を区切り、皆が安心して利用できるセキュリティを確保します。こうした「学校を地域の活動拠点とする」ということを、より分かりやすく伝えるために、改めて「地域活用型学校」と称し、取り組みを進めています。

普段から地域のイベントや会議に使えるんだね



様々な年齢の人が集まる場になるね

4 これからの学校を考える授業の開催

何で統合するのかな？ 新しい学校はどんな学校になってほしいかな？ 小学3年生の社会科で考えてみました。

知ろう 考えよう 新たな学校づくり

取り組みを進めている第1期の5地区（本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小学校地区）の9校において、小学3年生を対象に、これからの学校を考える授業を実施しています。新たな学校づくりに取り組む背景である

少子化や学校施設の老朽化が進んでいること、今と昔の学校の違い、町田市がどんな学校を目指しているのかを学び、「これからの学校はこんな学校がいいな」を考えるグループワークや発表をしてもらいました。

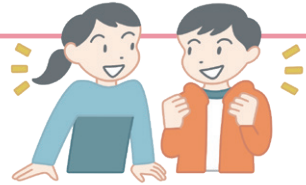


授業の感想

- 子どもが少なくなってびっくりした
- 市役所の人の話で知らないことを知れてよかった
- 新しい学校ができるのがワクワクする
- 自分たちで考えた意見でいい学校になってほしい
- 楽しく過ごせる学校にできそう
- いろいろな意見があって面白かった。
- 他のグループの意見もいいなと思った
- ぼくらが中学生になったときに、新しい学校の図書室が使えるなら行こうと思った
- 学校が減るのはさみしい。
- 仮校舎のみの在学になるが、がんばろうと思った

5 第1期の学校の進捗状況

鶴川西地区、鶴川東地区、南第一小学校地区の進捗をお知らせします。



（仮称）鶴川中央小学校（鶴川西地区）

新しい校歌・校章の制作に取り掛かりました

2026年度 学校統合（現・鶴三小の位置）
2029年度 新校舎使用開始（現・鶴四小の位置）

鶴川西地区の鶴川第三小学校と鶴川第四小学校は、2026年度の学校統合に向けて準備を進めています。鶴川西地区では、新しい校歌・校章の制作に、両校の子ども達と取り組んでいます。子ども達はクラスの中で、「校歌に込めたい想い」や「校章のイメージ」についてみんなで話し合っているほか、2025年3月に開催する「校歌をつくる会」「校章をつくる会」に、制作者と、両校とその卒業生の代表が参加して子ども達の意見を出し合うなど、校歌・校章の制作と一緒に取り組んでいます。

（仮称）鶴川東小学校（鶴川東地区）

「鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画」の見直し作業をしています

2029年度 学校統合（現・鶴三小の位置）
2033年度 新校舎使用開始（現・鶴二小の位置）

鶴川東地区の鶴川第二小学校と鶴川第三小学校の一部の学区は、2029年度の学校統合に向けて準備を進めています。鶴川東地区では、当初予定していた学校統合時期を変更し、鶴川第三小学校を仮校舎とする計画としました。このため、地域・保護者・学校運営協力者・学校の代表からなる「鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会」では、新しい通学路の安全対策や負担軽減策など、基本計画で示してきた統合に向けて取り組む事項の見直し作業を進めています。

南第一小学校地区

南中学校の敷地に設置する仮校舎の整備を進めています

2027年度 仮校舎へ移転（南中の位置）
2030年度 新校舎使用開始（南一小の位置）

南第一小学校は、単独で建替えを進めています。南中学校に整備する仮校舎の設計・建設業者を決定し、現在、2025年度中の着工に向けて準備を進めています。並行して、小学校用のグラウンドの工事を進めています。なお、新校舎の整備についてはPFI手法での整備を予定しておりましたが、昨今の社会情勢の変化により、民間事業者の参画可能性のハードルがより高くなる傾向にあることなどから、従来手法での整備に変更しました。新校舎の使用開始時期に変更はありません。

【お問合せ先】 町田市教育委員会学校教育部

- 学校統合に関すること 新たな学校づくり推進課 ☎042-785-5471
- 学校施設の整備に関すること 施設課 ☎042-724-2174

まちだの新たな学校づくりに関するお知らせ （町田市ホームページ）

推進計画などの資料は、町田市HPにも掲載しています。
右の二次元コードからアクセスすることができます。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報誌は、201,000部作成し、1部あたりの単価は5円です。（職員人件費を含みます。）